

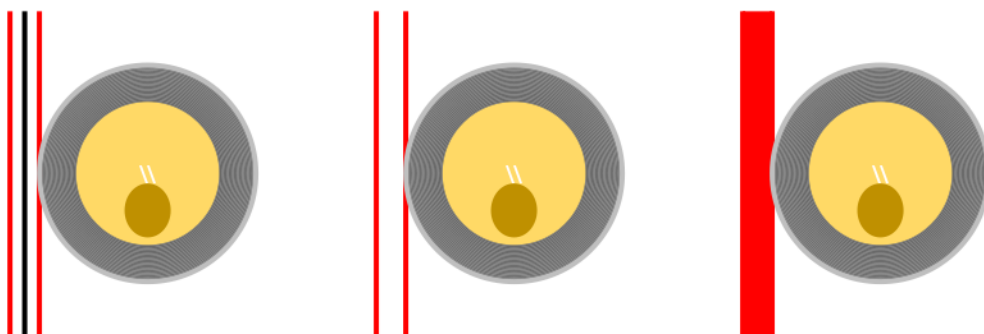
2022-23 シーズンの試行ルール(ノーティックルールの) 適用について

この9月に開催された世界カーリング連盟(WCF)の総会において、2022-2023シーズンに行なわれるWCF主催大会のうち、ミックスダブルスカテゴリーの大会(世界ミックスダブルス予選、世界ミックスダブルス選手権および世界車いすミックスダブルス選手権)を除いたものに対し試行ルール(いわゆるノーティックルール)が適用されるのを受け、ミックスダブルスカテゴリーを除くJCA主催大会に対し以下の試行ルールを適用します。

エンドの6投目をデリバリーする前に、デリバリーしたストーンが、フリーガードゾーン内でセンターラインに触れている相手チームのストーンを直接的あるいは間接的にセンターラインに触れていない位置やフリーガードゾーンの外に動かした場合、違反をされたチームは以下の中から一つ選ぶことができる。

- 1) デリバリーされたストーンを取り除き、動いたストーンを全て違反が行われる前の位置に戻す。
- 2) 全てのストーンをそのままにしておく。

※ センターラインが複数の線で表示されている場合、ストーンがそのどれかに掛かっていたら、センターラインに触れている、とみなします。



(原文は WCF ウェブサイト <https://worldcurling.org/competitions/rules/> 内の “No Tick-zone Trial Rule 2022-2023” からリンクされた PDF ファイルをご覧ください)

ルール適用における留意点

- 本ルールはミックスダブルス・車いすミックスダブルスには適用されません。
- 必要に応じ、ストーンがラインに掛かっているかを判断する用具(三角定規など)を用意してください。
- R2(i)に関し、ストーンがセンターラインに掛かっているかの判断も、目視のみによる測定の例外に加えてください。
- ハウスにかかったストーンは、フリーガードゾーン内でない/フリーガードゾーンを外れたストーンとなります。ハウス前の微妙な位置にあるストーンは、まずバイターメジャーでハウスに掛かっているか確認してください。